

## 令和8年度 第1回「北区自立支援型個別地域ケア会議」を開催しました。

6月15日(月)「令和8年度・第1回・自立支援型個別地域ケア会議」を開催しました。

当日は会場参加13名、オンライン(Zoom)参加17名の計30名が参加し、多職種による活発な意見交換が行われました。

今回は、ケアプラン晴れるやと介護支援ノッポの会瑠璃光の2事業所から事例を提供いただきました。会議には、介護支援専門員をはじめ、リハビリテーション専門職、薬剤師、歯科衛生士、社会福祉協議会職員などが参加し、それぞれの専門的な視点から事例検討を行いました。

今回の会議では、2つの事例を通して本人の「したいこと」や「ありたい姿」の実現に向けた支援について検討しました。

1事例目は、猫と暮らすことを楽しみにしている女性の事例です。以前は自転車で自由に外出していましたが、身体機能の低下や不安から外出機会が減少していました。会議では、「再び自転車で外出し、自信を取り戻したい」という本人の思いを中心に、身体機能の向上だけでなく、地域とのつながりや日常生活の楽しみを維持するための支援について意見が交わされました。

2事例目は、転倒による骨折を経験した女性の事例です。現在もリハビリに意欲的に取り組まれており、「図書館に通いたい」「友人との外出を楽しみたい」という目標を持っています。会議では、目標達成に向けた身体機能の回復支援に加え、社会参加の機会を維持・拡大するための具体的な支援策について検討しました。

参加した専門職からは、運動機能の維持・向上、服薬管理、口腔機能の改善、地域資源の活用など、多角的な視点から助言が行われました。参加者は、本人の強みや意欲に着目しながら、自立支援と重度化防止につながる支援のあり方について理解を深めました。

今後も関係機関が連携し、高齢者一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、自立支援に向けた取り組みを進めてまいります。今後も開催しますので、参加はもちろんです。ケアマネジャーの皆様からの検討事例の提供もお待ちしております。

